

# 人口減少にも負けない 元気なまちへ

2月17日から始まった令和5年3月三田市議会定例会で、森哲男市長は令和5年度の施政方針を表明しました。

「施政方針」とは、これからのまちづくりの基本的な考え方と主な施策を示すものです。今号では、施政方針（概要）を5年度に力を入れて取り組む施策についてお知らせします。



## 施政方針

## 『住み続けられる』まちへの改革

令和5年度は、社会が緊急時から平時に移り変わっていく転換点。変化の激しい時代に臆することなく、直面する困難な課題に対して、新たな方向へ勇気をもって踏み出す年度と位置づけ、果敢に取り組んでいきます。具体的には、次の3つの目標のもと、「住み続けられる」まちへの変革―人口減少にも負けない元気なまちへ―を掲げ、市政の推進を通じて次世代にむけたまちの改革を積極的に展開します。

市長提案説明の全文は、市HP「市長の部屋」に掲載しています▼



■目標1  
「人口減少にも負けない元気なまちを創る」

全国的な人口減少の傾向は今も留まらず、本市もその影響を少なからず受けています。人口減少を緩和していくとともに、市民の皆さんの安全安心を確保することはもとより、地域資源の活用や地域人材と取り組む「まち」や「さと」の再生、起業創業や新規就農などへの支援など、まちを元気にしていく施策を通じて、人口減少下であっても元気な三田を創出していきます。

■目標2  
「実感できる『未来のまち』を創る」

SDGs（持続可能な開発目標）の浸透とともに、社会のデジタル化や脱炭素化が加速度的に進み、私たちの生活の中で活用される機会が見受けられます。さんだ里山スマートシティやゼロカーボンシティの取り組みが、市民生活の一部として取り入れられ、日々の体験を通じてその成果が享受されるよう、公民連携による具体的なサービスを利用できる機会を拡充します。

■目標3  
「温もりのある地域コミュニティを創る」

隣人を支え、共に生きる温もりのある地域コミュニティは、住み続けていくうえでの基盤であり、まちへの定着を促すうえで大きな魅力です。これまでに進めてきた、多様性を認め支え合う共生社会に向けた取り組みや、このたび策定する第3次三田市地域福祉計画に基づく孤独・孤立対策、国の「子ども家庭庁」の発足と合わせて設置する三田市子ども家庭センターなどを通じて、地域に住む誰もが心の温もりを感じながら暮らせる地域づくりを、市民の皆さんとともに進めます。

## 6つの重点項目に取り組みます

重点項目

1 市街化調整区域の活性化

重点項目

2 三田駅前、ニュータウンの再開発・再生

重点項目

3 地域医療提供体制の整備

重点項目

4 子育て・教育環境の充実

重点項目

5 若者のまちづくりの推進

重点項目

6 ゼロカーボンシティへの挑戦

### 市の組織が変わります

## アウトドア交流推進課を創設！



◀ 詳細は市HP（令和5年度組織改正）

## 組織改正

### 市の重点課題への対応

#### 【市街化調整区域の活性化】

□ アウトドア交流推進課を創設  
市野外活動センターや千丈等湖畔の観光資源を核としたアウトドア交流都市の基盤整備と大阪・関西万博を契機とした市の魅力発信などを推進

□ 都市政策課に市街化調整区域活性化担当を設置

#### 【さんだスタートアップシティへの推進】

□ 地域共創部に産業振興担当を設置

#### 【地域医療提供体制の一体的な推進】

□ 総合政策部に地域医療推進担当と地域医療推進室を設置

#### 【さんだゼロカーボンシティへの挑戦】

□ まちの再生部に環境政策担当を、環境創造課にゼロカーボンシティ推進担当を設置

### 新たな行政課題への対応

#### 【子どもの相談体制を強化】

□ 子ども未来室に三田市子ども家庭センターを設置

#### 【組織横断的な交通政策の推進】

□ 都市政策室に交通政策担当を設置

#### 【神戸市との消防指令業務の共同運用による体制強化】

□ 消防本部に指令共同担当を設置



## そのほかの新規・拡充事業など

### 子ども・子育ての安心



【子ども家庭センター設置関連事業】

**新** 未就園児等全戸訪問事業 280万円

就学前施設（保育所など）に在籍していない園児などの居宅を訪問し、困りごとを把握して、必要な支援・サービスにつなげる

**新** 子育て世帯訪問支援事業 24万円

ヤングケアラーなど要支援家庭に家事ヘルパーを派遣し、養育環境を整える

**拡** ウッディタウン地区チャッピーサポートセンター開設（子育て世代包括支援センター） 136万円

**拡** 妊婦健康診査費用の助成額増額 6,169万円

### 若者が集うまち



**新** 結婚新生活支援事業  
ハッピーウエディング応援制度 1,800万円

市内で新婚生活をスタートさせようとする世帯を対象に、結婚に伴う新生活のスタートにかかる費用（家賃・引っ越し費用など）を支援

**新** 住み替え支援補助事業  
「住みかエ〜ル」補助制度 600万円

市内で新築・中古住宅を購入する市内外の若年・子育て世帯などへ住宅取得にかかる費用を支援

**新** 三田駅前Cブロック地区再開発事業での公益的施設整備 1,300万円

Cブロック地区での商業棟オープンにあわせて、若者、子育て世帯を中心に多様な人材が交流する拠点「（仮称）若者のまちづくり交流センター」の整備に向け、準備



▲三田駅前Cブロック地区イメージパース

### 心つながる暮らしの安心

**新** 「つながる 寄り添う 支え合う 共生のまち さんだ」推進事業 2,400万円

市内6圏域に配置している地域福祉支援員が19歳～64歳の人の困りごとをお聞きします。地域に向き、多種多様な交流の場づくりを支援します

### 観光・交流・文化の振興

**新** 千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業 1,067万円

千丈寺湖畔の優れたロケーションや豊かな自然環境を生かしたアウトドア施設の整備誘致などに向けて、サウンディング調査やSDGs体験型プログラムなどを実施



### 乳幼児期の育ち

**新** 病児・病後児保育直営実施 1,571万円

多世代交流館内の専用スペースで市直営で実施

### 学校教育の充実

【不登校等対策事業】

**新** あすなろ e-school ～メタバースを活用した新たな学びの空間～ 295万円

GIGA スクール端末を活用し、メタバース空間でのコミュニケーションや学習を通して、社会や人との関わりを持つきっかけとする



**新** 小学校子どもどころ支援員配置 116万円

**新** こころとからだの自立に向けた相談会 10万円

### 生活の安全安心・非常時への備え

**新** 城山体育館の大規模改修および空調設置工事、駒ヶ谷体育館の設備改修および空調設置工事設計 計 2億6,416万円

### まちの再生

**新** 第三テクノパーク測量・基本設計業務 3,300万円

### 新統合病院整備関連事業

**新** 新統合病院基本計画等策定事業 2,630万円

高齢化に伴う医療需要の増加などを見据え、三田・北神地域の急性期医療の充実を図るため、新統合病院の詳細な医療機能などを定める基本計画等を策定

**新** 現三田市民病院跡地活用調査事業 1,200万円

**新** 新統合病院整備に伴う市内交通影響等調査事業 890万円

令和5年度の主な新規・拡充事業

**新** 新規事業 **拡** 拡充事業

# 予算からみる まちづくり

※令和5年度に取り組む事業のうち一部を抜粋して掲載

## さんだ里山スマートシティの推進

2億6,713万円

さまざまな三田の課題について、ICT・IoT・AIなどのデジタル技術の戦略的な活用とデータ利活用で、「市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられる持続可能なまち三田」を目指します。



さんだ里山スマートシティ  
Sanda Satoyama Smartcity

**新** デジタル活用健康づくり事業 1,913万円

マイナンバーカードを活用したポイント付与型アプリ導入により、市民の生活習慣改善と主体的な健康づくり活動を推進

**新** 見守りタグによる認知症高齢者等支援事業 151万円

小型軽量の見守りタグを貸与し、認知症の人が行方不明になっても移動経路などを把握し、早期発見につなげる

**新** 市立就学前施設 ICT システム導入事業 467万円

市立就学前施設(三田保育所・認定こども園)にICTシステムを導入することで、施設と保護者間の連絡手段の利便性を高めつつ、業務効率化を図る

**拡** スマート図書館サービス整備事業 2億3,088万円

図書館(本館・分館・分室)にICタグを活用したセルフ貸出機などを導入し、利用者の利便性を図る。オンラインによる利用者登録など利用環境の整備も進める

## ゼロカーボンシティへの挑戦

1億5,185万円

令和4年度に策定した「さんだゼロカーボンシティ推進計画」に基づき、2030年度温室効果ガス排出量49%削減を目標として、市民・事業者・行政が一体となる取り組み「さんだ脱炭素カウントダウン作戦」を展開します。



**新** 公共施設への太陽光発電設備設置促進 8,013万円

消防本部庁舎、聖苑、三田保育所に太陽光発電設備を設置

**新** 木の駅プロジェクト推進事業 523万円

里山整備などで発生する伐採木を薪や木質バイオマス燃料などとして資源循環する仕組みづくりを推進

**新** バイオマスプラスチックを使用したごみ袋導入 5,412万円

## さんだスタートアップシティの推進

1,494万円

起業や新規就農といった、「新たなビジネス」の立ち上げなどにチャレンジする人を増やし、まちの成長のエンジンになりえる人材の、夢とやる気を積極的にサポートすることで、「スタートアップに優しいまち三田」を目指します。



**新** スタートアップアカデミー事業 20万円

将来のキャリア選択の一つとして広く起業への意識醸成を図るため、高校生向け起業家育成講座を開催

**拡** チャレンジジョブ応援事業 200万円

地域に根差した起業家を発掘し、育成することを目的に実施していた家賃補助事業の対象経費を拡充

**新** 農業研修受講料助成事業 30万円



一般会計予算 **425** 億 9,600 万円 (対前年度比 1.9%増)

全会計予算 **857** 億 8,954 万円 (対前年度比 2.1%増)



## ■ 会計別予算



会計	4年度 予算額	5年度 予算額	増減金額	増減率	
一般会計	418.0 億円	426.0 億円	8.0 億円	1.9%	教育・福祉や道路・公園の整備など、市の基本的な行政サービスを行う会計
特別会計	209.0 億円	216.2 億円	7.2 億円	3.5%	国民健康保険など特定の収入があり、使い道が決まっている会計
企業会計	213.2 億円	215.7 億円	2.5 億円	1.2%	民間企業のように利用料金などの収益で運営している事業
総計	840.2 億円	857.9 億円	17.7 億円	2.1%	-

### － 新たな三田市を創る －

市民の皆さんが未来に向けた活力や希望を実感できる取り組みを進めるとともに、市民病院の再編統合や学校園の再編など、安心して暮らし続けられるよう地域課題に取り組み、「次の時代の新たな三田市」を創っていきます。歳入予算は市税や譲与税・交付金が増収となるなど、歳入全体は増加を見込んでいます。歳出予算では、光熱費・燃料費が3.4億円増加するなど、急激な物価高騰に加え、社会保障経費が大幅に増加しています。特別会計は後期高齢者医療や介護保険などの医療給付費が増えています。

※企業会計は収益的支出と資本的支出の合計です(詳細は下表)。

## ■ 企業会計予算

会計	市民病院事業		水道事業		下水道事業	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収入	96.7 億円	15.1 億円	30.5 億円	15.7 億円	31.2 億円	11.5 億円
支出	99.0 億円	20.8 億円	28.5 億円	20.3 億円	30.7 億円	16.5 億円
差引	△ 2.3 億円	△ 5.7 億円	2.0 億円	△ 4.6 億円	0.5 億円	△ 5.0 億円

**収益的収支**：水道料金や下水道使用料、医療行為などによる収入と人件費や施設維持費などの営業活動の支出による収支。  
**資本的収支**：水道や下水道、病院施設の建設や機器の更新を中心とした収支。収支不足の場合は、内部留保資金等で補てん。

### 市民病院事業会計

新型コロナウイルス感染症対策の変化に対応したうえで、「救急医療の充実」などにより、地域に安心をもたらす急性期医療の継続的かつ安定的な提供に努めます。また、地域医療の核となる新病院建設への準備を進めていきます。

### 水道事業会計

安全で良質な水道水を安定して供給するため、施設の老朽化への対応や耐震化の推進などに取り組みます。また今年度は、施設管理等におけるデジタル技術の活用、給水スポットの設置、次期水道ビジョンの策定などを実施していきます。

### 下水道事業会計

快適な生活環境を保つため、施設の更新や耐震化のほか、浸水対策を進めます。使用料改定によって経営は改善されたものの、今後は人口減少などにより収益の減少が見込まれるため、引き続き事業の効率化を図り、健全経営に努めます。